

吉野ヶ里町の給与・定員管理等について

1 総括

(1)人件費の状況(普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口 (令和3年1月1日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) R2年度の人件費率
R2年度	16,160人	12,270,420千円	52,029千円	1,269,106千円	10.3%	14.1%

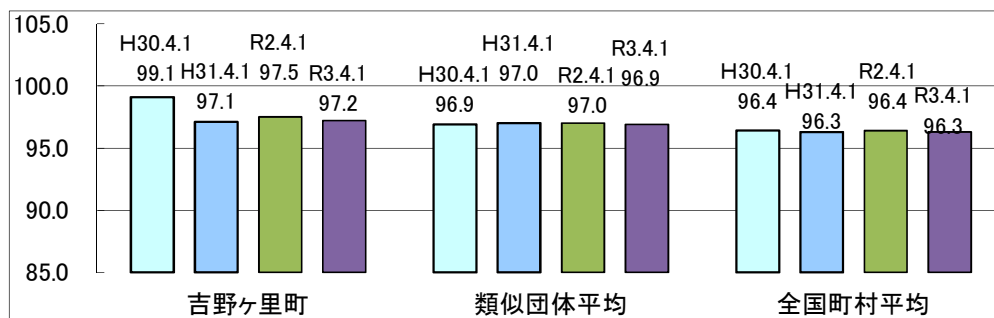
(注) 1 人件費には、特別職(町長、議員など)に支給される給料、報酬などを含む。

(2)職員給与費の状況(普通会計決算)

区分	職員数 A	給与費 B				(参考)一人当たり 給与費 B/A 千円	(参考)類似団体平均 一人当たり給与費 千円
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計		
R2年度	136人	500,891千円	72,101千円	198,858千円	771,850千円	5,675	5,679

(注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
 2 職員数については、令和2年4月1日現在の人数である。また、任期付短時間勤務職員(再任用職員(短時間勤務))及び会計年度任用職員を含まない。
 3 給与費については、任期付短時間勤務職員(再任用職員(短時間勤務))の給与費が含まれているが、会計年度任用職員の給与費は含まれていない。

(3)ラスパイレース指数の状況



(注) 1 ラスパイレース指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数(構成)を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職棒給表(一)適用職員の棒給月額を100として計算した指数。
 2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレース指数を単純平均したものである。

※ 令和3年4月1日のラスパイレース指数が、①3年前に比べ1ポイント以上上昇している場合、②3年連続で上昇している場合、③100を超えている場合について、その理由及び改善の見込み

(4)給与改定の状況

本町は人事委員会を設置していないので省略します。

(5)給与制度の総合的見直しの実施状況について

給料表の見直し [実施]
 実施内容 (給料表の改定実施時期) ■ 令和元年12月14日
 (内容) ・ 初任給(大卒):600円の引上げ改定
 ・ 初任給(高卒):1,100円の引上げ改定
 →若年層の職員が在職する号給について所要の改定(平均改定率0.03%)

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1)職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(令和3年4月1日現在)

①一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
吉野ヶ里町	40.3 歳	301,353 円	349,117 円	326,508 円
佐賀県	41.3 歳	317,430 円	380,165 円	341,848 円
国	43.0 歳	356,097 円	—	407,153 円
類似団体	41.7 歳	305,764 円	360,353 円	336,127 円

(注) 1 「平均給料月額」とは、令和3年4月1日現在における職員の基本給の平均である。
 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。
 また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出している。

(2)職員の初任給の状況(令和3年4月1日現在)

区分	吉野ヶ里町	佐賀県	国	
一般行政職	大学卒	172,200 円	182,900 円	182,200 円
	高校卒	150,700 円	150,700 円	150,600 円

(3)職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(令和3年4月1日現在)

区分	経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年	
一般行政職	大学卒	257,600 円	357,733 円	381,900 円	409,075 円
	高校卒	232,133 円	— 円	355,900 円	382,333 円

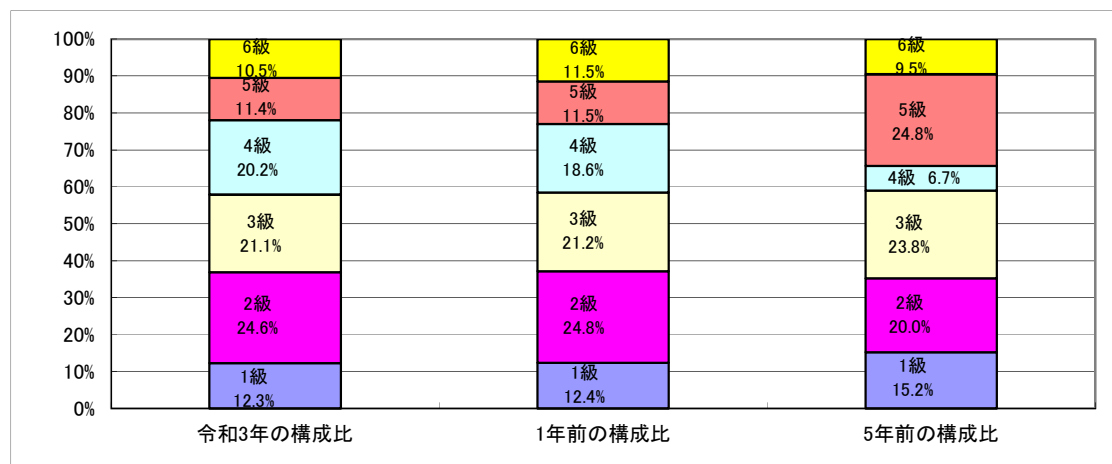
(注) 職員が3名以下となる階層は近似の階層を用いて集計し、近似の階層にも職員が少数若しくは存在しない場合は「ハイフン(-)」としています。

3 一般行政職の級別職員数等の状況

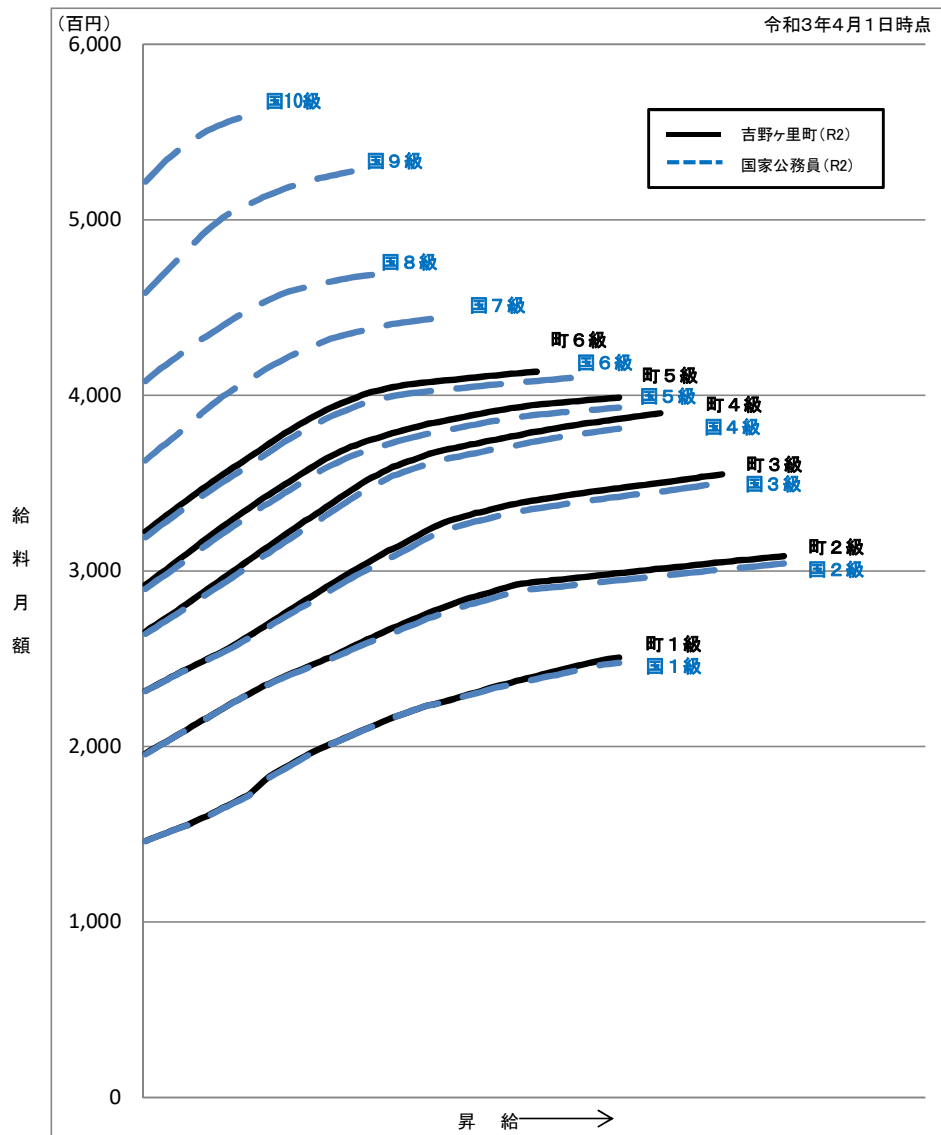
(1)一般行政職の級別職員数の状況(令和3年4月1日現在)

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
6 級	課長、局長、参事の職務	12 人	10.5 %	322,400 円	413,500 円
5 級	課長、局長、参事、副課長の職務	13 人	11.4 %	292,100 円	398,700 円
4 級	係長、主幹の職務	23 人	20.2 %	265,400 円	389,800 円
3 級	係長、主査の職務	24 人	21.1 %	231,700 円	355,000 円
2 級	主任主事の職務	28 人	24.6 %	196,000 円	308,400 円
1 級	主事	14 人	12.3 %	146,100 円	250,600 円

(注) 1 吉野ヶ里町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2)国との給料表カーブ比較表(行政職(一))(令和3年4月1日現在)



(3)昇給への人事評価の活用状況

令和3年4月2日から令和4年4月1日 までにおける運用	管理職員		一般職員	
	昇給可能な区分	昇給実績がある区分	昇給可能な区分	昇給実績がある区分
イ. 人事評価を活用している	○		○	
活用している昇給区分				
上位、標準、下位の区分	○	○	○	○
上位、標準の区分				
標準、下位の区分				
標準の区分のみ(一律)				
ロ. 人事評価を活用していない				
活用予定時期				

4 職員の手当の状況

(1)期末手当・勤勉手当(一般行政職)

吉野ヶ里町	佐賀県	国
1人当たり平均支給額(R2年度) 1,442 千円	1人当たり平均支給額(R2年度) 1,642 千円	—
(R2年度支給割合) 期末手当 2.55月分 勤勉手当 1.90月分 (1.45)月分 (0.90)月分 (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算 ・役職加算 5～15%	(R2年度支給割合) 期末手当 2.55月分 勤勉手当 1.90月分 (1.45)月分 (0.90)月分 (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10%	(R2年度支給割合) 期末手当 2.55月分 勤勉手当 1.90月分 (1.45)月分 (0.90)月分 (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25%

(注) ()内の数値は、再任用職員に係る支給割合である。

○勤勉手当への人事評価の活用状況(一般行政職)(吉野ヶ里町)

令和3年度中における運用	管理職員		一般職員	
イ. 人事評価を活用している	○		○	
活用している成績率	支給可能な成績率	支給実績がある成績率	支給可能な成績率	支給実績がある成績率
上位、標準、下位の成績率	○	○	○	○
上位、標準の成績率				
標準、下位の成績率				
標準の成績率のみ(一律)				
ロ. 人事評価を活用していない				
活用予定時期				

(2)退職手当(令和3年4月1日現在)

吉野ヶ里町			国		
(支給率)	自己都合	勤奨・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	19.6695月分	24.586875月分	勤続20年	19.6695月分	24.586875月分
勤続25年	28.0395月分	33.27075月分	勤続25年	28.0395月分	33.27075月分
勤続35年	39.7575月分	47.709月分	勤続35年	39.7575月分	47.709月分
最高限度	47.709月分	47.709月分	最高限度	47.709月分	47.709月分
※定年前早期退職特例措置 2～20%加算			※定年前早期退職特例措置 割増率2～45%		
1人当たり平均支給額 11,351 千円					

(注) 退職手当の1人当たりの平均支給額は、令和2年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3)特殊勤務手当(令和3年4月1日現在)

支給実績(R2年度決算)	355千円	支給職員1人当たり平均支給年額(R2年度決算)	15,452円	
職員全体に占める手当支給職員の割合(R2年度)		15.75%		
		手当の種類(手当数)		
		5種類		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績(R2年度)	支給単価
税務手当	事務に従事した職員	町税の賦課・徴収に関する事務に従事	224,400	月額1,700円
感染症防疫作業手当	作業に従事した職員	感染症防疫作業に従事	16,000	日額2,000円
死体処理作業手当	作業に従事した職員	死体処理作業に従事	0	日額5,000円
行旅死亡人取扱手当	作業に従事した職員	行旅死亡人の取扱作業に従事	0	日額1,500円
動物死体処理手当	作業に従事した職員	動物死体処理作業に従事	115,000	日額1,000円

(4)時間外勤務手当

支給実績(R2年度決算)	23,132千円	職員1人当たり平均支給年額(R2年度決算)	178千円
支給実績(R1年度決算)	24,741千円	職員1人当たり平均支給年額(R1年度決算)	193千円

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(○年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含む。

(5)その他の手当(令和3年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (R2年度決算)	1人当たり 平均支給年額 (R2年度決算)
扶養手当	・子：10,000円 ・子以外：6,500円 ※特定期間(16～22歳)にある子：1人につき5,000円加算	同	—	20,840千円	289,446円
住居手当	・借家、借間：(支給限度額)月額27,000円 ・持家(新築、購入から5年間)：月額2,500円 ※持家の手当は平成21年12月より廃止	異	下限：12,000円 上限：27,000円	10,484千円	283,355円
通勤手当	・自家用車等利用者(片道2km以上)： 距離区分により月額2,000～31,600円 ・交通機関利用者：(支給限度額)月額55,000円	同	—	5,301千円	46,502円
管理職手当	・課長：月額43,000円 ・参事：月額33,300円	異	定額	7,907千円	494,175円

5 特別職の報酬等の状況(令和3年4月1日現在)

区分		給料月額等	
給料	区分	月額	(参考)類似団体における最高/最低額
			町 長
副 町 長	600,000円	710,000円 / 468,000円	
報酬	議 長	310,000円	420,000円 / 230,000円
	副 議 長	250,000円	360,000円 / 180,000円
	議 員	233,000円	345,000円 / 157,000円
期末手当	町 長	(令和2年度支給割合)	
	副 町 長	3.35月分	
退職手当	議 長	(令和2年度支給割合)	
	副 議 長	3.35月分	
退職手当	町 長	(算定方式)	(1期の手当額) (支給時期)
	副 町 長	750千円×在職年数×500/100	1,500万円 任期毎
		600千円×在職年数×294/100	705.6万円 任期毎

(注) 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

(1)部門別職員数の状況と主な増減理由

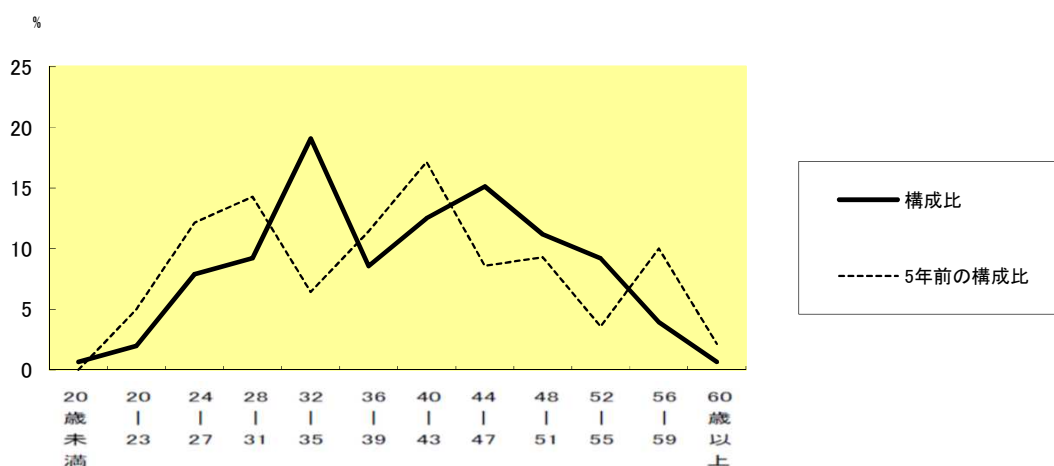
(各年4月1日現在)

部門	区分	職員数		対前年 増減数	主な増減理由	
		令和2年	令和3年			
普通会計部門	一般行政部門	議会	2	2	0	
		総務	41	40	▲1	正規職員→再任用短時間職員(1)
		税務	11	11	0	
		農林水産	9	9	0	
		商工	4	4	0	
		土木	11	11	0	
		民生	24	28	4	業務量増加に伴う増員(1)欠員補充(1)臨時的任用職員(2)
		衛生	9	10	1	臨時的任用職員(1)
	小計	111	115	4	<参考> 人口1万当たり職員数 71.16人 (類似団体の人口1万当たり職員数 76.10人)	
	教育部門	25	25	0		
小計	136	140	4	<参考> 人口1万当たり職員数 86.63人 (類似団体の人口1万当たり職員数 93.40人)		
公営企業等	簡易水道	1	1	0		
	下水道	1	2	1	業務量増加に伴う増員(1)	
	その他	8	9	1	臨時的任用職員(1)	
	小計	10	12	2		
合計		146	152	6	<参考> 人口1万当たり職員数 94.06人	
		[157]	[157]	[0]		

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。

2 []内は、条例定数の合計である。

(2)年齢別職員構成の状況(令和3年4月1日現在)



区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	1人	3人	12人	14人	29人	13人	19人	23人	17人	14人	6人	1人	152人

(3)職員数の推移

(単位:人・%)

部門別 \ 年度	28年	29年	30年	31年	令和2年	令和3年	過去5年間の増減数(率)
一般行政	106	107	109	113	111	115	9(8.5%)
教育	22	24	23	22	25	25	3(13.6%)
消防	0	0	0	0	0	0	
普通会計	128	131	132	135	136	140	12(9.4%)
公営企業等会計	12	11	11	11	10	12	0(0%)
総合計	140	142	143	146	146	152	12(8.6%)

(注) 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。